自分の気持ちがうまく伝えられない 人の気持ちが想像できない 対人関係のコツを知る グループプログラム

P-STAR

Process-oriented Social cognition Training

Applied for Relationship

日程

- □グループプログラム時間:15:00~90分程度
- □全12回、決まった曜日に実施します

*遅刻しそうなとき、急な事情で来院できないときは、プログラム開始15分前までに、下記番号までご連絡ください。

042-341-2712 (内線7290)



*2階21番、臨床心理室にお越しください。



対象となる方

- ■概ね15歳以上の方
- ■ASD(自閉症スペクトラム障がい)や社会的スペクトラム障がいが疑われる方で、対人関係やコミュニケーションが苦手な方、それに取り組んでよくしたい方
- *病状の不安定な方は主治医にご相談ください。

プログラムの流れ

- ■プログラムの流れは次の通りです。
- ①臨床心理室でお申し込み
- ②プログラム開始前のオリエンテーション
- ③プログラム実施(12回)

料金について

- □プログラムには保険診療が適用されます。
- □料金はセッションごとにお支払いいただき ます。
- □個別カウンセリング、毎回のセッション、 などを合わせて、総額14000~26000円程 度の料金になります(保険診療の自己負担 に応じて変わります)。
- □詳細は臨床心理室の担当者にお聴きくださ い。

P-STAR

Process-oriented Social cognition Training Applied for Relationship

こんなことはありませんか?

感情を読むことが苦手

- □ 自分の気持ちを言葉で表現できない
- □ 相手がどんな気持ちかわからない

状況を読むことが苦手

- □ いつ話しかければよいかわからない
- □ 会話の流れを把握するのが難しい

コミュニケーションの問題

- □ 世間話をすることが難しい
- □ 相談の仕方がわからない

どんなプログラム?



このプログラムは、感情や 状況を読むことや、コミュ ニケーションが苦手で、対 人関係にお困りの方を対象 にしています。よりよい対 人関係を築くことを目的と して、みんなで工夫をした り、ポイントを学んだり、 話し合ったりします。 プログラムは全12回実施し、 $4 \sim 10$ 人のグループで行われます。

各回では、テーマごとのポイントをご紹介します。また、みなさんが仕事や生活の中で抱えている困りごとを共有します。

(3)

このプログラムではプロセスを大事にしています。 日々の生活の中で試しながら、自分に合った方法を考え、継続していくことについて話し合います。

具体的には何をする?

- ■プログラムでは、各回に"対人関係のポイント"をお伝えします。
- ■そのポイントをもとにして、練習したり、話し合ったりします。
- ■日々の生活にいかせるように、"ホームワーク"に取り組んで、練習していきます。

(日本の) (日本の

■人間関係を紙に書いて整理してみよう。

日常生活で、もし人間関係でうまくいかないことが知るだら、「対人関係のレくみ砲」を使って整理してみることをお勧かします。下のように書き出してみると、相手の言った言葉の書味が後で理解で変なり、自分と相手の考えがどこですれていたのかに気づくことができます。。



この場合、日 書の母親は洗濯物が濡れないように見ていてもらいたかったのに、日 書は母親の言葉 をそのまま要け取り、ただいっと見ていて洗濯物をとりこまず、母親を思うせたということがわか りました。これは少し極端な物ですが、人間関係でうまくいかなかったとき、このように紙に書い てみることで状況を把握することができます。。